

空間ID・3次元空間情報基盤の 活用人材育成に係る特別講座

産学連携のためのインフラ整備
官と民の両面で、デジタルツイン利用の
共通認識を醸成



デジタルツインの
基礎知識や
トレンドを理解



産官連携を通じた
デジタルツインの
利用場面の開発
アイデアソンの実施

実ソフトウェアを用いた
デジタルツインの
利用や構築



空間IDと3次元空間情報基盤で広がる活用シーン

官庁の職員、公益法人の職員、
地方公共団体職員(道路管理者等)

データを共通IDで連携し、巡視・点検記録を一括管理!

余計な業務を増やさず、情報検索や施設管理の効率と品質をアップ!

高速道路各社、
道路管理者

巡視・点検記録を空間IDで一括管理し、効率UP!

測量業者

測量成果の規格が統一され、
品質管理が容易となり、納品物の
加工コストを大幅に削減!

建設コンサルタント

空間IDでデータを公開!
データを簡単に公開でき、情報
の二次利用がスムーズに!

建設業者

施工管理の効率化!
現場データをリアルタイムで確
認し、正確な進捗管理が可能に!

各種SDSP

データを空間IDに紐付けて提供!
半自動でデジタルツインシステム
とスムーズ連携!

ドローン運行事業者

航路設定情報を簡単に共有で
き、発注者や他業種との連携が
スムーズに!

開催期間 **前期** 2025年4~9月、 **後期** 同年10月~2026年1月

費用 **無料** (ただし、対面での実習の際は、交通費自費負担)

募集期間 (1次締め切り) 2025年1月末日

応募方法 事前登録申込URL : <https://forms.office.com/r/4whqiyBCC0>

問合せ先 ndkouza@3d.ssil.jp



主催 宇宙サービスイノベーションラボ事業協同組合・学校法人法政大学・学校法人大阪経済大学

※本講座は「NEDOプロジェクトを核とした人材育成、産学連携等の総合的展開」の委託を受けて実施するものです

本講座はこんな方におすすめです!

デジタルツイン活用のビジネスを進めたいが、発注者のニーズを深く知りたい方・実際に何が可能で、何が難しいのか、率直な意見交換を望む方・最新トレンドを業務に反映させ、現場での活用を目指したい方。

本講座のポイント

- 全講座を受講することで体系だった知識と実務で役立つ経験を蓄積できるように計画しています。
- ビデオ講座を含みます。(※ビデオ講座は動画配信予定)

講座のレジュメ(予定)

(※開催時に更新される場合があります)

		主題	内容	開催形式	
基礎編	座学	1	デジタルツイン環境	国土形成計画や国際的なデジタルツインの最新動向、Plateauの3次元モデル、計測機器、点群データの活用事例まで、未来のデジタルツイン環境を支える最先端技術と実践ユースケースを徹底解説。	オンライン
		2	公共測量と点群データ計測	デジタル社会を構築するためには、関連法規や公共測量の役割を理解し、点群データの蓄積に関する国の仕組みや最新動向を学ぶことが不可欠です。これにより、未来の測量技術とデータ活用の可能性を広げ、社会全体の発展に貢献できます。	オンライン
		3	空間IDと地物判読	Semantic Point Cloud Dataによる点群データの構造化で、点群データと3次元モデルの違いを鮮明にし、地物識別手法を詳しく解説。これにより、データ分析の精度と効率を高める新たな可能性が広がります。	オンライン
		4	点群データの利用(基礎)	点群データ解析ソフトウェア「3D Point Studio」でデータ操作をマスターし、オープンデータのダウンロードや可視化を行い、現地調査ツールを活用して効率的な分析を実現しましょう。	オンライン
	実践	5,6	3次元空間情報基盤のインフラメンテナンスへの活用	支給タブレットを駆使し、現地調査ツールで計測したデータを3次元時空間情報基盤に登録。さらに、登録情報と既存データを連携して、業務発注や技術提案に必要な書類を効率的に作成する新しい試みに挑戦します。	対面 (アイデアソン)
応用編	座学	7	デジタルツイン環境と空間ID	デジタルツイン環境と空間IDの前期講座内容をダイジェスト形式でご紹介し、未来の技術を理解するための基礎を築きます。さらに、オンライン教材の案内もあり、学びを深める絶好の機会を提供。新たな知識で未来を切り開きましょう。	オンライン
		8	点群データの利用(応用)	「3D Point Studio」を駆使して点群データを高度に活用し、そこから空間IDを生成。さらに、地物判読の技術を取り入れることで、データ分析の精度を向上させ、さまざまな分野での応用が可能になります。	オンライン
		9	3次元空間情報基盤の概要	3次元空間情報基盤の概要を学び、その多彩な機能を徹底解説! さらに、3次元モデルやボクセルモデルを実際に体験し、データ活用の新たな可能性を探ります。未来のプロジェクトに応用できるチャンスをお見逃しなく。	オンライン
		10	3次元空間情報基盤のAPIの活用	3次元空間情報基盤のAPIを徹底解説し、その活用方策を紹介! この新たな技術を活用することで、データの効率的な管理や分析が可能となり、さまざまなプロジェクトに革新をもたらすチャンスが広がります。	オンライン
	実践	11,12	3次元空間情報基盤の実践活用	3次元空間情報基盤を活用した実践を試行環境で体験し、計測機器で得た点群データを解析。API連携で関連情報の空間ID化を行い、産官交流を促進するアイデアソンで新たな発想を生み出しましょう。	対面 (アイデアソン OR ハッカソン)